

大成功に終わる 宮脇 昭先生講演会 「ふるさとの いのちの森づくりを」

270 席超満員の会場は、最後まで先生と聴衆者が一体になり、いのちの森づくりに思いを熱くしました。多くの皆様のご参加に、またスタッフにあたってくださった方々に感謝申し上げます。ありがとうございました。

心と命、遺伝子を守っていくために、ふるさとの本物の森づくりをして行こうではありませんか。時ノ寿の森クラブでは、来年3月22日(日)宮脇先生の指導により6000本の苗を植える植樹祭を実施します。多くの皆様のご参加を期待しております。

<ブログから>

満席の「宮脇昭先生講演会」 (10月30日)

毎日新聞社の特別後援をいただき、毎日新聞が進める植樹キャンペーン「あすを植えよう いのちの森・My Mai Tree」と連携して開催した宮脇昭先生講演会「ふるさとの いのちの森づくりを」は、宮脇先生の熱いメッセージを聞きたい人たちで、270席の会場は埋め尽くされました。

「森づくりは命を守ること。命と文化と遺伝子を守る本物のふるさとの森を時ノ寿・掛川から世界へ。共に額に汗をし、大地に手を接して、すべての市民が魅力を持つ土地本来のふるさとの森づくりを。いきいきとした命あふれる地域活性の原点は、いのちの森づくりから。」と、宮脇先生の熱い語りには、居眠りする人も、途中で立つ人もいませんでした。

真剣に聞き入っている聴衆者に、先生も十二分に応えてくださり、予定していた80分間の講演時間は100分を超えてしまいました。すばらしい話に、多くの人たちから喜びの声をいただきました。主催者としては、これほどうれしいことはありません。これから進めていく森づくりに、勇気と自信が湧いてまいりました。

クラブ会員の福島さんからいただいたメールをご紹介します。

「講演会開催お疲れ様でした。熱気あふれる満員の会場、大成功でしたね。老若男女あらゆる層の方がいらして、熱くなるものを感じました。宮脇先生のお話も、非常に興味深く拝聴させていただきました。80歳とは思えぬ「かくしゃく」としたお姿！ 話もユーモアあふれる語りで引き付けられました。本物の森づくりの実践、潜在自然植生の考え方は農に照らしてみても腑に落ちることが多く、ヒントをもらい、且つ勇気づけられました。宮脇先生の存在がとてもありがたく、心強く感じます。3月が楽しみです。こちらの地域行事等ない事を祈りつつ・・・。このような機会を企画していただき、本当にありがとうございました。スタッフの方々も、ありがとうございました。

した。」

福島さんありがとうございました。



2008年10月31日(金)

心に響く「ことば」(宮脇先生講演会より)

生活と共生する環境への願いを込めて「ふるさとの木による ふるさとの森づくり」と題した宮脇昭横浜国立大名誉教授のご講演は、心に響く語録であふれていた。正確な語録の紹介は、録音したMDを起こさなければできないが、心に響いた素晴らしい語録を一刻も早く皆さんと共有したいので、私の拙いメモを頼りに活字にすることをお許しいただきたい。

私たち人間が、今生きていることは奇跡である。今大事なことは、本物が偽物かを見極めること。言い換えれば、毒を排除すること。そして、今生きていることを大事にするためには、心・命・遺伝子を守る森を造ること。

生物社会は、互いに「がまん」をし合って生きている。共生するということは、仲良しクラブのように生きていくことではない。少々嫌な相手でも、気に入らないことがあっても、がまんをして生きていくこと。がまんのできない生物は、この地球上では、生きていけない。

私は、本物が好きだ。木を植えることは、命を植えること、明日を植えること。だから、本来は、行政が木を植えなければいけない。本物の木を植えよ。本物の木を植えることは、小手先では出来ない。だから、行政は、本物に金（税金）をかけよ。

森を支えているのは、本物の親分の木と、その下の子分の低木や草である。世界の歴史を見ても、放牧は森を破壊するがん凶である。現場・現場・現場。現場には、研ぎ澄まされた自然発生的なかすかな情報がある。

中部の本物の木は、海拔800mまではシイ・カシ・タブである。800m以下の里山に落葉

樹を植えるなら、20年先に誰かが伐採してやる担保が必要だ。土地本来の本物の木ではないものは、人間が手を掛けてやらなければ生きてはいけない。

関東大震災の教訓を生かせ。陸軍の建物のある敷地に逃げた住民4万人のうち3万8千人が焼死。清澄庭園に逃げ込んだ住民2万人は、一人の死亡者もいなかった。

ボルネオの熱帯雨林を再生してきた。泥臭い活動が森づくり。行政や企業は、形式のものしか造らない。業者任せにしないで、市民自らの手で、掛川から本物の森を造って行って欲しい。



<当面のスケジュール>

7月	20日(日)	定例活動日 (8:30~15:00 森の駅周辺環境整備、弁当は自由。)
8月	17日(日)	定例活動日 (8:30~15:00 山の草刈作業、ある人は「かま」を持参。弁当は自由。作業時間は都合のつく範囲でOK。)
9月	7日(日)	クラブ定期総会 (8月初旬に案内状を送付、参加有無を確認します。)
	21日(日)	定例活動日 (8:30~15:00 山の草刈作業、かま持参、弁当自由。)
10月	19日(日)	定例活動日 (8:30~15:00 谷川の草刈作業 かま持参。弁当自由。)
11月	16日(日)	定例活動日 (8:30~15:00 時ノ寿の森の間伐事業の見学、弁当自由。)

***10月頃「森の駅」完成予定。完成後に記念行事を予定。後日ご案内をいたします。**

編集後記

この通信は、クラブの情報を会員の皆様に発信して行きますが、会員の皆様からも情報があったらどうぞ。今回は、会員の桑田さんからの情報を同封しました。ぜひ、観光ツアーに参加してみてください。